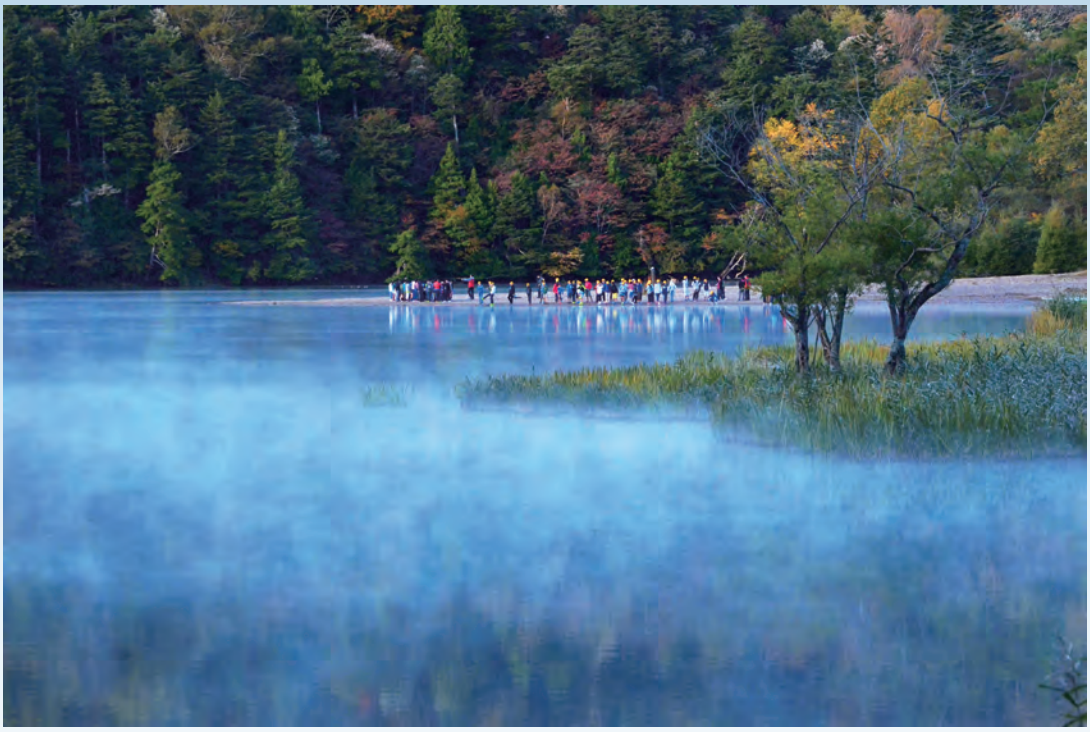
第２次日光市環境基本計画 概要版

日光市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）
日光市気候変動適応計画



日光市は、多様な自然、長い歴史、世界に誇る貴重な文化遺産・産業遺産、さらには良質な温泉など、豊富な環境資源を有し、国内外から毎年1,２００万人を超える観光客が自然や文化遺産を求めて当市を訪れています。

本市では、平成２２年に「日光市環境基本計画」を策定し、環境保全に係る各種施策を推進してきました。しかし、平成２３年に発生した東日本大震災では、本市も大きな影響を受け、エネルギー消費やライフスタイルについて見直す要因となりました。

また近年、地球温暖化の影響と考えられる気候変動や生物多様性の減少など、環境問題は身に迫る脅威として深刻化しています。

このような状況を踏まえ、本市でも今日の環境問題や課題に対応し、未来に向けて持続可能な社会の実現を目指して、「第２次日光市環境基本計画」を策定いたしました。計画では「安全・安心な生活環境の確保」「自然共生社会の構築」「資源循環型社会の構築」「低炭素社会の構築」「環境学習・環境交流の推進」の５つを環境目標に定めています。

今後も、本市が目指すべき環境像として『多彩な環境交流を楽しみ、育む　持続可能な都市・日光』を定め、『強く、優しい、人が輝く日光市』の実現に向けて、市民・事業者・滞在者・市の協働により、環境への負荷を低減する取り組みを積極的に進めていきます。

日　光　市

【めざすべき環境像】

多彩な環境交流を楽しみ、育む　持続可能な都市（まち）・日光

【計画目標】 **自然と共生する　環境にやさしいまちづくり**

【計画の期間】 令和２年度（2020 年度）から令和 11 年度（2029 年度）までの 10 年間

５つの分野別環境目標

1	2	3	4	5
安全・安心な生活環境の確保	自然共生社会の構築	資源循環型社会の構築	低炭素社会の構築	環境学習・環境交流の推進

３つの重点的取り組みで環境目標を達成します。　重点１　重点２　重点３

重点１　自然との多彩なふれあいを楽しむ

日光市は、すぐれた自然環境や水資源・水辺環境に恵まれ、環境に学び、楽しみ・育み・つないできた歴史文化、暮らしや産業など数多くの環境資源があります。

こうした自然との多彩なふれあいを通して、自然との共生のあり方を考え、環境について学び、活動していきましょう！

すぐれた自然環境を将来に引き継ぐ

- 自然とのふれあいを楽しみましょう。
- 地域の自然や生物がもたらしている恵みについて考え、守り、育てましょう。
- 市や地域、団体が実施する自然観察や自然体験、自然を守る活動に参加しましょう。
- 地域の自然と暮らしの知恵などを、子どもや滞在者に伝えましょう。
- 身近な自然とのふれあい場所をきれいにしましょう。有害鳥獣を見かけたら報告しましょう。

里地里山の活用と保全

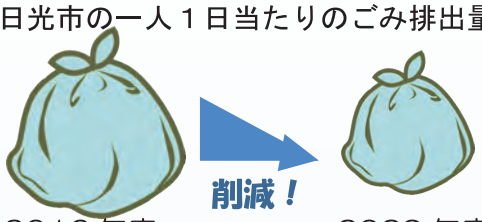
自然とのふれあいを楽しむ

重点２ みんなで３Ｒを進める

ごみの減量化・資源化をいっそう進め、環境にも家計にもやさしい資源循環型社会を作る必要があります。

このために、３Ｒ（リデュース：ごみを減らす、リユース：繰り返し使用する、リサイクル：再生利用する）をみんなで進めていきましょう！

日光市の一人１日当たりのごみ排出量



2016 年度
1,211ｇ/ 人･日

2029 年度
973ｇ/ 人･日

- **３Ｒについて考え、できることから日常生活で実践してみましょう。（マイバッグ活用など）**
- **食品ロスを減らす工夫をしましょう。**
- **エコクッキングや生ごみの堆肥化、水切りなど、生ごみを減らす工夫を進めましょう。**
- **ごみを正しく分別し、リサイクルを進めましょう。地域の資源物回収団体活動に協力しましょう。**
- **ごみ出しルールを守り、身近な場所の清掃や地域の環境美化、クリーン活動に協力しましょう。**

重点３ 日光市全体のCO_2を減らす

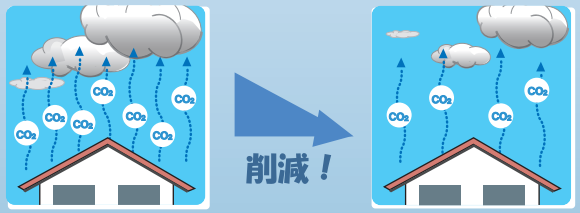
日光市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）

地球温暖化などの気候変動による異常気象や災害など、さまざまな影響が出てきています。このため、地球温暖化の防止は、全世界の人々が取り組むべき重要な課題です。

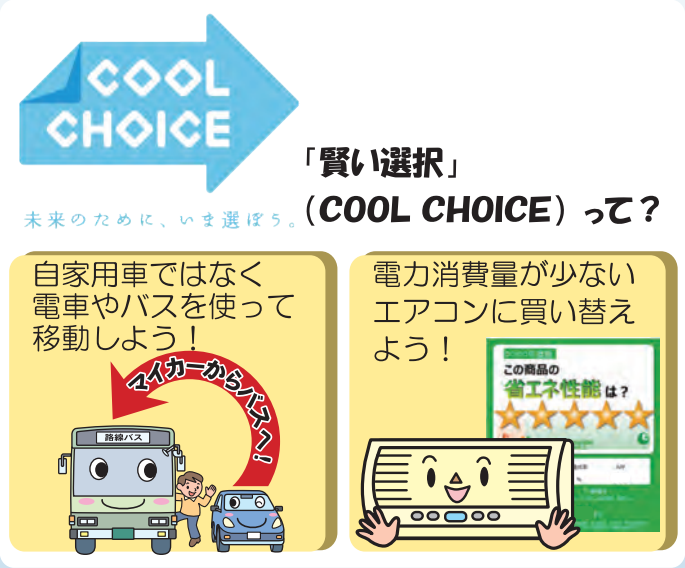
私たちのまち日光市でも、日常生活や事業活動で排出される温室効果ガスは昔と比べて大きく増えました。

エネルギーの節約（省エネ）、再生可能な自然エネルギーの活用（再エネ）などに取り組むとともに、ライフスタイルや事業活動において、一人ひとりが「賢い選択」（COOL CHOICE）を行うことで温室効果ガスの排出を減らし、地球温暖化の防止に取り組んでいきましょう！

日光市全体の温室効果ガス（CO_2）排出量



2013 年度 809 千トン　　2029 年度 610 千トン



- **日常生活での省資源・省エネルギーなどエコアクションを進めましょう。**
- **電気や燃料などのエネルギーの使用状況をチェックし、エネルギーを有効に活用しましょう。**
- **ライフスタイルの見直しや自分ができる COOL CHOICE から取り組みを進めましょう。**
- **日光市エコショップ等認定事業所を活用しましょう。**
- **再生可能エネルギー利用や地域で進める分散型電源など地域エネルギー活用に協力しましょう。**

日光市気候変動適応計画を策定しました。

気候変動（きこうへんどう）って？

気候の自然な状態に、人々が影響を与えて変化したものをいいます。

適応（てきおう）って？

気候変動による影響を回避したり軽くするための対策をとることです。

日光市の気候の変化は？

一日の平均気温は、観測地点すべてで上昇傾向にあります。

１時間当たりの降水量もほとんどの観測地点で増加傾向にあります。

私たちが受ける影響は？

- 熱中症にかかる危険性が増します。
- 蚊に刺されることで伝染病にかかることがあるかもしれません。
- 農産物の品質が低下することや不作になることもあります。
- 新緑や花の開花、紅葉の時期が例年よりずれてしまいます。
- 降水量の増加で、川の流量、滝や渓谷の景観が変わってしまいます。
- 暖冬で雪が不足し、氷を使ったイベントや産業も打撃を受けてしまいます。

……まだまだ、たくさんあります。

適応するために

- 市内で気候変動の影響がどのくらい出ているのか、情報収集します。
- 緊急性があるのか、将来どのような影響が出るのか判断します。
- 国、県の研究機関と連携して、適切に対応します。

水分をこまめにとる、 蚊が育つ水たまりを作らない、 これも適応の一つです！

私たち一人ひとりが気候変動について理解を深め、 一緒に取組み、
安全に安心して生活できる環境を将来の世代に引き継ぎましょう。

日光市気候変動適応計画
気候変動適応法第１２条に基づく地域気候変動適応計画
計画期間１０年間 （令和２年度（2020 年度）～令和１１年度（2029 年度）

編　集　日光市市民環境部　環境課
住　所　〒321-1292 栃木県日光市今市本町１番地
電　話　0288（22）1111（代表）
環境課メールアドレス　kankyou@city.nikko.lg.jp

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。